



カトリック長崎大司教区 広報委員会 長崎市上野町10-34

教皇さまの意向

- 一般 スポーツが友情を育み、世界平和に貢献できるように

高見大司教を団長に韓国巡礼 大邱と長崎の関わりを再確認

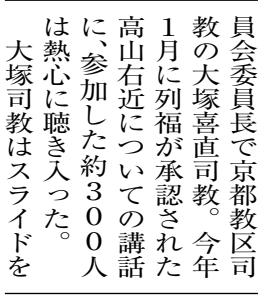


祭壇に聖香油を注ぐ曹大司教

高見三明大司教をはじめ長崎教区の巡礼団18人は、5月20日(金)...

11年(100周年)を記念する一環として建設した準司教座教会(Ecclesia co-ethadrials)の献堂式に参加した...

大司教は、今年3月に巡礼で訪れた五島について「信仰の喜びや大切さ、そして信仰の表現について思うところがあつた」と紹介し、「司教座教会は教区民の信仰の中心であり表現である」と述べた。



曹大司教と巡礼団と共に

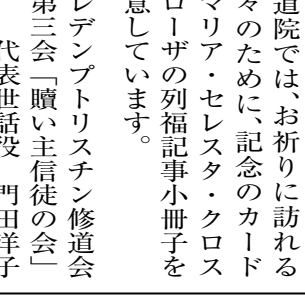
レデンプトリスチン修道会創立者 マリア・セレスタ列福式



6月18日(土)、レデンプトリスチン修道会の創立者マリア・セレスタ・クロス...

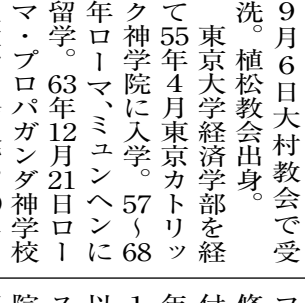


ル会の司祭1人、信徒20人が参加しました。南イタリヤの夏の強い陽ざしを避けるため、参列者には白い...



列福式の様子

聖19日(日)には、パレルモの名誉大司教で、かつてフォッジャの大司教を務めたサルヴァトーレ・デ・ジヨル...



宮川俊行師が引退 略歴 1932年3月15日茨城県土浦市生まれ。44年9月6日大村教会で受洗。植松教会出身。

任命 人事顧問(5月16日付) 葛嶋 秀信師(相浦主任) 岩本 繁幸師(教区会計)

右近の3つの試練 大塚司教が中町教会で講演 5月29日(日)13時から中町教会で長崎南地区評議会主催の特別講演会「ユスト高山右近の3つの試練―神に導かれた殉教者への道」が行われた。



使つて右近の生涯などを紹介。1563年10歳の時に受洗し、神の愛のために自分をささげる生き方を貫いた右近の列福の意義を強調し、講演を結んだ。

高山右近の列福式決定 教区が組織する列福式実行委員会から発表される。右近の没後すぐに始まった列福運動は、これまでに度々頓挫したが、1963年5月、日本の司教団は列福運動再開を決議。マニラの大司教の承認を得て、大阪の田口芳五郎司教(当時)が運動の責任者となり、64年4月24日付でローマの認可を得た。

請を行った際、当時の典務長官カニサレス枢機卿から高見三明大司教に、信徒発見の舞台となった大浦天主堂を小バジリカに申請してはどうかとの助言があつた。高見大司教は「教会の復活のきっかけとなった大浦天主堂の重要性を増すことになり、現代においても...

国宝・大浦天主堂 国内初のバジリカに 日本二十六聖人を保護者とおおぐ大浦天主堂が、4月26日付で小バジリカ(Basilica Minor)として認可された。日本で最初のバジリカとなる。2013年10月8日に「日本の信徒発見の聖母」の祝日の認可申請...

歴史的、芸術的、典務・司教的に重要な教会堂に与える称号ともなつた。大バジリカと小バジリカがある。前者は教皇祭壇のあるローマの四大聖堂(洗礼者聖ヨハネ、聖ペトロ、城壁外、聖パウロ、聖マリア)だけであるが、ローマの教会および教皇と特別なきずなを表す小バジリカは、2016年4月の時点で全世界に1740ほどある。



# 原子爆弾体験記 平和を守り抜くために

鯛之浦小教区信徒 中田喜蔵



## 1945年の長崎市の様子

私は今から70年前に落とされた一発の原子爆弾によって長崎の街がどのような結果になったのか、その時の市民の心境はどんなだったのか、私の体験談を話させていただきますが、まず、その頃の長崎市の模様を少し話すことにします。

被爆70年を迎えた2015年8月9日、新上五島町立上五島中学校において平和学習のための講演会が行われ、中田喜蔵さん(写真)が体験談を語った。ご本人の了解を得て、ここに紹介させていただきます。

教区広報委員会

### はじめに

皆さんは、今から70年前に広島と長崎に落とされた原子爆弾って、どんな爆弾だったのかわかるかと考えたことがありますか。実は去年(2014年)の8月1日の長崎新聞記事によりますと、長崎での原子爆弾は直径280センチほどの火の玉だったと書かれていたのですが、その火の玉は私たちが日々の生活の中で見る火の玉ではなく、屋根瓦なども一瞬のうちに溶かすほど何千度の熱を持った火の玉だったようです。それはどの熱を持った大きな火の玉ですか。長崎の上空は空気がふくらんで飛び散り、想像もつかないほどの爆風となって、あれほどの大きな鉄筋コンクリートの家なども一瞬にして吹き飛ばしてしまっただけです。

その上、さらに怖いのは毒性の強い放射線が含まれていたのです。それではその原子爆弾なる火の玉がどうして出来たのか。その毒性の強い放射線がなぜ含まれていたのだろうか。それは私には説明できませんので、皆さんがこれから高校あるいは大学、あるいは就職と成長するにつけて必ず勉強してください。約束です。

## 原爆投下(8月9日)

さていよいよ原子爆弾本題に入ります。その日は朝10時頃には空襲警報も解除になり、午後から出勤するはずの山口豊君と2人で、大浦天主堂の横にあった神学校の運動場の柵に腰掛けてぼんやりしている、かすかな飛行機の音が聞こえてくるので、見上げると2機の飛行機が現れて、何か落下傘みたいな物体がふわりと落とされた物を不思議に思っていたその瞬間、突然に百の稲妻が光ったかのような緑光に打

たれ、目の前は、どす黒い煙と真っ赤な光に包まれてしまいました。それこそ一瞬の出来事では何が起こったのか無我夢中で防空壕へ逃げ込む途中に爆風でたたきつけられましたが、幸いに手のひらを少しけがしただけで逃げ込むことができました。何がなんだか全く分かりません。ただ怖さのあまりぶるぶる震えるばかりで1時間ぐらいい過ぎたのでしょうか。怖がる物が見たがる人の心理もあつてか、やつの思いで防空壕から這い出してみると、これはまたどうしたことでしょう。見渡す限り長崎の街は火と黒煙に包まれ、目に映る全ての人泣きわめきながら右往左往。あの恐怖と騒乱状態は言葉で表すことはできません。間もなく私は校舎に入ってみようとしたが、天井は落ち、床は膨れ上がり、窓ガラスは一枚も無く、とても人が入る状態ではありませんでした。

## 十六番館への避難

当然、恐怖におびえながら神学校校長と神学生が、私たち20数名の安全な住まいを確保するために努力され、早速グラブパー園近くの修道会所有であった、十六番館への引っ越しが始まったのですが、今のうちに車を引越す訳ではありません。ましてや、街中の全ての人が泣きわめきながら安全な場所を求めて逃げ回る群れを避けるようにして荷物の運び出しに一生懸命でした。そんな中でも幸いなことに大浦方面はまだ火の手が上がつてないのがせめてもの救いでした。

## 母子3人の死(8月10日)

4名の埋葬後、昼頃だったでしょう。8時くらい離れた大橋町に住んでおられた東陵中学校の教頭先生で、先ほど埋葬した石橋真君の父親である石橋猛先生が、疲れきった悲愴なお姿で「家族の者が家の下敷きになってから救出を頼む！」と神学校に居た長男真君を頼りに応援を求めて駆け付けました。先生の話によると、火の中をぬつて家に駆け付けた時はまだ妻子のうめき声が聞こえていたが、一人ではどうすることもできず応援を求めにいられたのですが、その時、長男真君はすでに埋葬されたことを告げられた父親の心境はいかばかりだったでしょう。



浦上天主堂の石壇(1945年8月16日撮影:原清氏)

悲しんでいる間もなく私と山口豊君を引き連れて神学校生2名が、燃え盛る街中を避けて、どこをどうやって8番の道のりを走ったのかは全く分かりませんが、その上に火事となって火葬されたのであろうあの臭気、あの状況の中、本当に死体を踏み分けての搜索でした。街中では今まで建っていた建物は全くなく、目印になる物は全くありません。一面がれきに埋もれてどこが道路か、ここはどのあたりなのかさき分りかきませんでした。ただ目印になるのは4番ほど離れた小高い所にある大浦天主堂を見て、ここが長崎駅前付近であることは分かりましたが、そこでは忘れようとしても忘れられないほど、たくさんの死体の状況を見せつけられたものです。

## 不明者の搜索(8月11日)

時はすでに6時頃だったでしょう。その日は来た道をたどりながら急いで十六番館まで帰りましたので、2日目のその日はそれほどの悲惨さを見ることはありませんでしたが、明けて3日目は街中の火も下火になり、神学生に引率されて行方不明者を探ることになったのですが、街中に入ると前も後ろも右を見ても左を見ても人の死体です。幾百人とも知れぬ死体が3人4人と抱き合うようにして家の下敷きになり、その上に火事となって火葬されたのであろうあの臭気、あの状況の中、本当に死体を踏み分けての搜索でした。街中では今まで建っていた建物は全くなく、目印になる物は全くありません。一面がれきに埋もれてどこが道路か、ここはどのあたりなのかさき分りかきませんでした。ただ目印になるのは4番ほど離れた小高い所にある大浦天主堂を見て、ここが長崎駅前付近であることは分かりましたが、そこでは忘れようとしても忘れられないほど、たくさんの死体の状況を見せつけられたものです。

主の平安  
カトリック式葬祭・飾付一式

**(有) 栄光式典社**

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011  
24時間営業 FAX(095)843-9896

ご先祖に心より感謝を・・・

**材石 治明**

長崎本店 長崎市城楽町13-1 電話(095)846-3598  
大村本店 大村市民霊園内 電話(0957)50-3008

いつくしみの特別聖年  
2015年12月8日~2016年11月20日

裁きよりも、いつくしみを。

飢えている人に食べさせ、渴いている人に飲み物を与え、着る物をもたない人に衣服を与え、宿のない人に宿を提供し、病者そして受刑者を訪問し、死者を埋葬する。

疑いを抱いている人に助言し、無知な人を教え、罪人を戒め、悲嘆に打ちひしがれている人を慰め、もろもろの侮辱をゆるし、煩わしい人を辛抱強く耐え忍び、生者と死者のために祈る。

共に生きる

**カトリック新聞** 週刊(日曜日発行) / 1年9,744円・半年4,872円  
(国内1部、税・送料込) ご購読のお申し込みは  
03-5632-4432 http://www.cwjpn.com/cwjpn/ カトリック新聞 検索



# 広島教区から悲しみと喜びの知らせ



三末篤實司教帰天  
(広島教区名誉司教)

6月28日未明、急性心筋梗塞のため逝去。80歳。1936年4月24日平戸市生まれ。宝亀教会出身。62年3月19日、大浦天主堂で山口愛次郎大司教により司祭叙階。鮑の浦・大浦・浦上の各教会で助任を務め、69年神戸大司教、71年長崎カトリックセンター司牧企画室長、73年俵町主任、79年カトリック中

がれている人、手や足の無い死体、あるいは、首が無い死体。そんな中でも、目の奥底に強く残っているのが馬と馬主の絆でした。瀕死の状態でも結わい付けられた車を外すことができない馬はもちろん、焼けた丸い3日間座ることも倒れることもできずに死に絶えている馬主の上に首をうなだれ、よだれを流してじっと見守っている姿を見た時は胸が熱くなるのを覚えました。さらに神学生に引率されるままに浦上方面に差し掛かると、けが人や死体の数が増えるのを不思議に思うようになり、ちよつとした物陰でもあれば、必ずそこには何人かが瀕死の状態でも「助けてくれー」「水をくれー」と叫び続けていたのです。無情なようですが、誰もがそのようなけが人に手を差し出してくれる余裕はないのです。いや、あるいはそんな無情な人間にその時の状況がなされたのかもしれない。



（提供：長崎平和推進協会写真資料調査部会）

さらに進んで浦上川付近に差し掛かった時、浦上天主堂の塔の一番上の部分が浦上川に落ちていたのを見ます。その大きさにびっくりし、さらにまたこんな大きな物体がどうしてここまで飛ばされたのだろうと、本当にびっくりしたものです（その塔は今もそのまま残されているそうです）。それからずっと川上に沿って折り重なるように水たまりに浮いたり、川原にうずくまっていた死体の数は幾百体だったでしょう。あるいは4桁に達していたかもしれません。

ヨゼフ 中央協議会事務局次長、81年同協議会事務局次長、84年出津主任を歴任。85年4月13日広島教区司教に任命、6月16日同教区司教座聖堂で安田久雄大司教により司教に叙階。2010年6月司教叙階25周年。11年6月13日広島教区長引退。

フランシスコ教皇は、日本カトリック神学院院长のアレキシオ白浜満師（長崎教区）を、6月28日発表。叙階式は9月



アレキシオ 白浜満師、広島司教に

天に旅立っていった。存在自体が香り立つような方だったと語った。長崎からも多くの司祭、修道者、信徒らが参列し、三末司教をしのいだ。白浜被選司教は1962年5月20日新上五島町生まれ。仲知小教区・米山教会出身。90年3月19日浦上教会で司祭叙階。同年8月サン・スルピス司祭会に入会するためカナダへ留学、その後、パリ・カトリック大学へ。95年4月福岡サン・スルピス大神学院現日本カトリック神学院福岡キャンパスに養成者として着任。2012年4月から日本カトリック神学院院长。

悟った気がしたのです。もしかしたらこの兵器工場こそ原子爆弾の的ではなかったかと思いましたが、工場の跡地はがれきの山で見渡すことはできません。死に絶えている人の数もまるで焼け野原に残る石ころのようなありさまでした。

「原爆とは何だったのか……」 答えは私に示せることではないだろうけれど、ずっと考えながら研究をしています。2013年から長崎大学核兵器廃絶研究センター客員研究員。この4月に日本学術振興会特別研究員に採用された。昨年8月、「浦上の原爆の語り——永井隆からローマ教皇へ（未来社）」を発行。本の発行により区切りがつき、今後は長崎だ

## 広島と長崎の違い — 原爆の語りを研究 四條知恵さん



「過去に広島と長崎の両方を見てきた。広島は被爆地、長崎は原爆の語り。その違いを研究したい。原爆の語りには、純粋な記録を見たい。純粋な記録を見たい。純粋な記録を見たい。」

「過去に広島と長崎の両方を見てきた。広島は被爆地、長崎は原爆の語り。その違いを研究したい。原爆の語りには、純粋な記録を見たい。純粋な記録を見たい。純粋な記録を見たい。」

傷口にうじ虫が（8月12日） さて4日目には疲れもあって、午後からの捜索になったのですが、その日は人が収容されている場所を重点的に探したのですが、4日目ともなるとさすがに人の死体は驚くほど少なくなっていました。迷惑なのが何十頭とも思える馬車の死体です。いたるところで炎天下に照らされて膨れ上がり、じゅうじゅうと音を立てて内臓が流れ出し、その悪臭は耐えられるものではありませんでした。

「資料は時代をつなぎ、人と人をつなぐツール。多くの方に支えられて自分の研究がある。資料を残すことでそれを返していただくと願っています。原爆の語りを見つめるこの研究は、私にとってはライフワーク。そういうものが人生で見つけられたのは幸せなことだと思っています。」

以上が4日間の捜索の中で大まかな忘れられない私の体験ですが、今まで話したことは決してオーバーな表現ではなく、すべて真実です。皆さんいかがでしたでしょうか。本当に終わりに

### 平和祈願祭

神のいつくしみを共に生き伝えるために

2016年8月9日(火) 被爆71周年(1945-2016)

主催：カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会



# 2015年度決算に関する報告 カトリック長崎大司教区

[収入の部]

科目	決算額
1. 経常収入の部	481,546,559
教区費	129,132,543
信徒	113,977,543
司祭	9,785,000
修道会	5,370,000
教区費等収入前年度分	0
特定献金	32,831,251
神学生養成援助費(封筒)	11,664,759
世界広報の日献金	2,281,701
聖ペトロ使徒座への献金	6,496,159
世界難民移住移動者の日献金	2,618,138
世界宣教の日献金	2,312,801
宣教地司祭育成の日献金	2,765,187
児童福祉の日献金	4,692,506
特別献金	50,128,271
寄付金	31,566,885
献金収入(本部関係)	15,686,386
ミサ奉納金(ビナチオ・トリナチオ)	2,875,000
ミサ献金(教区行事)	0
諸委員会活動費	13,551,484
(1) 信仰養成部	1,223,573
信仰教育委員会	154,024
生涯養成委員会	1,029,700
青少年委員会	39,849
信仰養成部	0
(2) 福音化推進部	687,470
人権委員会	0
福祉委員会	0
平和推進委員会	687,470
エキュメニズム・諸宗教委員会	0
福音化推進部	0
(3) 教会奉仕者等養成部	0
召命委員会	0
教会奉仕者養成委員会	0
(4) 典礼委員会	238,000
(5) 広報委員会	2,496,625
(6) 家庭委員会	3,031,057
(7) 教区本部事務局	332,011
(8) 小共同体推進室	346,800
(9) 教会歴史文化遺産評議会	0
(10) 信徒発見150周年委員会	5,195,948
その他	255,903,010
保険金収入	0
受取利息	10,780
非課税事業収入	6,737,911
小教区拠出金	233,273,077
雑収入	14,471,242
司祭年金繰入金収入	1,410,000
2. 財務収入の部	110,000,000
その他の財務収入	110,000,000
国宝保存財務資金	110,000,000
資金取崩収入	0
雑収入	0
その他収入	0
3. 前年度繰越金	65,016,067
収入の部合計	656,562,626

[支出の部]

科目	決算額
1. 経常支出の部	536,708,977
宗教活動費	6,366,289
祭儀費	694,717
特別行事	0
助成金(小教区)	2,036,482
教区評議会	3,635,090
諸委員会活動費	38,795,088
(1) 信仰養成部	2,790,251
信仰教育委員会	257,594
生涯養成委員会	1,675,004
青少年委員会	785,456
信仰養成部	72,197
(2) 福音化推進部	3,846,619
人権委員会	1,293,020
福祉委員会	53,940
平和推進委員会	2,030,941
エキュメニズム・諸宗教委員会	446,118
福音化推進部	22,600
(3) 教会奉仕者等養成部	839,248
召命委員会	731,488
教会奉仕者養成委員会	107,760
教会奉仕者等養成部	0
(4) 典礼委員会	784,635
(5) 広報委員会	7,047,067
(6) 家庭委員会	4,904,556
(7) 教区本部事務局	2,641,480
(8) 小共同体推進室	1,604,166
(9) 教会歴史文化遺産評議会	878,288
(10) 信徒発見150周年委員会	13,458,778
負担金	22,969,952
中央協議会送金	15,361,888
使徒座送金	7,008,064
心のともしび	600,000
神学生養成費	51,158,451
日本カトリック神学院	27,938,950
長崎カトリック神学院	10,000,000
福岡コレジオ	9,481,250
大神学生諸経費	3,738,251
助祭生活費	0
司祭生涯養成費	6,404,147
黙想研修会	4,404,147
海外留学費	2,000,000
不動産管理費	1,383,431
管理費	585,775
租税公課	797,656
人件費	326,720,398
聖職者(本部関係)	28,703,240
聖職者(小教区)	175,890,000
引退司祭	14,859,640
職員(本部関係)	53,000,728
職員(小教区)	54,266,790
福利厚生費	41,654,505
法定福利費(本部)	32,609,006
法定福利費(小教区)	3,116,287
福利厚生費	1,993,428
福利厚生費(医療費)	2,468,284
医療共済制度(カリス)	1,467,500
維持管理費	19,492,186
大司教館	12,127,779
カトリックセンター(管理部門)	7,364,407
事務費	14,866,644
教区管理費	14,045,657
法人事務所	820,987

科目	決算額
その他の支出	6,642,476
巡礼センター業務委託料	600,000
退職引当金繰入支出	0
非課税事業支出	6,042,476
雑費	255,410
2. 財務支出の部	70,569,302
財務支出	155,190
利子支払(借入金)	155,190
積立金支出	35,234,000
司教活動資金	3,000,000
不動産取得資金	30,000,000
その他支出	0
退職引当金繰入支出	2,234,000
その他	35,180,112
社会保険料等立替金	35,180,112
3. 次年度繰越金	49,284,347
支出の部合計	656,562,626

## カトリックセンター事業部門

[収入の部]

科目	決算額
収益事業収入	
宿泊収入	45,114,207
会議室収入	2,228,250
レストラン収入	10,633,990
売店収入	364,583
営業雑収入	673,694
受取利息収入	2,234
雑収入	81,838
預り金等収支差額	51,199
積立金取崩収入	8,408,640
前年度繰越金	1,663,056
収入の部合計	69,221,691

[支出の部]

科目	決算額
食材仕入支出	4,975,657
売店仕入支出	504,441
消耗品費	2,965,595
通信費	421,609
旅費交通費	73,560
水道光熱費	5,173,681
接待交際費	32,741
諸会費	105,000
車輛費	364,026
修繕費	128,088
保険料	463,670
保健衛生費	1,765,166
公租公課	4,914,103
リース料	278,553
広告宣伝費	49,320
支払手数料	1,514,046
雑費	1,582,952
寄付金	1,950,000
研修費	27,590
給料手当	21,145,385
福利厚生費	299,747
法定福利費	1,631,474
備品取得支出	2,000,840
次年度繰越金	16,854,447
支出の部合計	69,221,691

つ(火) 20時、平和公園へたいま  
 行(水) 18時、浦上教会でミサ。  
 列(木) 18時、浦上教会でミサ。  
 (金) 18時、浦上教会でミサ。  
 (土) 18時、浦上教会でミサ。  
 (日) 18時、浦上教会でミサ。

▼平和祈願祭 8月9日  
 会主催。長崎県宗教者懇話  
 タ。長崎県宗教者懇話  
 雨天ハカトリックセン  
 雨天ハカトリックセン  
 松山町原爆落下中心地。  
 8月8日(月)19時、長崎  
 8月8日(月)19時、長崎  
 8月8日(月)19時、長崎

▼原爆殉難者慰霊祭  
 進委員会主催。教区平和推  
 リア小聖堂。教区平和推  
 (土)8時、浦上教会被爆マ  
 牲者追悼ミサ 8月6日  
 進委員会主催。教区平和推  
 (土)8時、浦上教会被爆マ



# 2015年度決算に関する報告 72小教区決算集計表

[収入の部]

科目	決算額
<b>1. 経常収入の部</b>	<b>1,102,642,454</b>
献金収入	795,758,591
教会維持費	407,524,242
ミサ献金	118,088,574
ミサ奉納金	179,338,000
祭儀献金	53,060,842
その他の献金	37,746,933
寄付金収入	70,089,948
一般寄付金	43,291,630
指定寄付金	9,205,947
司祭寄付金	9,572,389
修道会寄付金	915,000
その他の寄付金	7,104,982
その他の収入	61,183,163
教区補助金収入	2,142,854
受取利息収入	684,081
墓地納骨堂管理費収入	9,197,213
行事収入	8,398,053
非課税事業収入	3,033,029
雑収入	37,727,933
預り金収入	175,610,752
教区費	115,421,873
神学生養成援助費(封筒)	11,319,174
児童福祉の日献金	2,329,200
世界広報の日献金	2,241,405
聖ペトロ使徒座への献金	2,367,345
世界難民移住移動者の日献金	2,554,581
世界宣教の日献金	2,227,854
宣教地司祭育成の日献金	2,207,245
特別献金	8,150,108
預り金	2,237,622
一葉募金	5,919,879
クリスマス募金	4,428,639
カリタスジャパン募金	7,510,159
その他の募金	6,695,668
<b>2. 財務収入の部</b>	<b>340,503,780</b>
内部借入金収入	174,700,000
外部借入金収入	0
特別目的預金取崩収入	33,813,350
境内地拡張費積立金収入	11,578,300
境内建物建設増改築積立金収入	72,035,630
土地売却代金収入	0
修理費積立金収入	16,997,596

科目	決算額
雑収入	13,367,685
教会建設積立繰越金受入	17,796,959
教会建設献金受入	8,550
教会建設寄付金受入	205,710
<b>3. 前年度繰越金</b>	<b>720,918,292</b>
<b>収入の部合計</b>	<b>2,164,064,526</b>

[支出の部]

科目	決算額
<b>1. 経常支出の部</b>	<b>994,809,173</b>
小計 I	812,836,709
祭儀費	48,059,026
教化費	18,637,275
教育養成費	30,130,482
図書費	6,539,437
出版刊行費	10,104,547
行事費	40,777,978
負担金	21,917,565
維持管理費	43,841,060
備品修繕費	19,852,844
保守管理費	11,716,633
墓地管理費	7,235,690
保険料	25,955,242
給与手当	213,512,818
雑給与	31,564,231
退職金	2,695,000
福利厚生費	11,459,723
法定福利費	4,589,354
会議費	3,540,129
消耗品費	23,032,275
器具備品費	17,060,614
リース料	21,364,250
通信費	13,243,346
旅費交通費	11,241,559
自動車諸費	20,813,444
水道光熱費	78,802,862
接待交際費	18,323,298
公租公課	1,319,772
支払利息	0
補助金支出	18,357,610
支払手数料	129,920
非課税事業支出	2,144,064
雑費	27,064,661

科目	決算額
司祭活動費補助	7,810,000
小計 II (預り金支出)	181,972,464
教区費	114,014,926
神学生養成援助費(封筒)	11,275,224
児童福祉の日献金	2,330,298
世界広報の日献金	2,238,218
聖ペトロ使徒座への献金	2,368,736
世界難民移住移動者の日献金	2,591,824
世界宣教の日献金	2,281,065
宣教地司祭育成の日献金	2,216,800
特別献金	12,046,586
預り金	3,844,012
一葉募金	5,762,967
クリスマス募金	4,491,058
カリタスジャパン募金	7,699,552
その他の募金	8,811,198
<b>2. 財務支出の部</b>	<b>395,765,424</b>
内部借入金返済支出	207,866,000
外部借入金返済支出	13,500,000
土地取得支出	2,877,297
建物取得支出	331,620
構築物購入支出	24,510,462
器具備品購入支出	5,744,502
特別目的預金積立支出	91,800,410
境内建物建設増改築基金	2,465,405
小教区互助基金	19,500,000
その他の支出	27,169,728
<b>3. 次年度繰越金</b>	<b>773,489,929</b>
<b>支出の部合計</b>	<b>2,164,064,526</b>

	2014年度	2015年度
世帯数	18,062	18,013
①維持費/世帯数/月	1,871	1,885
②教区費/世帯数/月	537	534
③教区費/維持費(%)	28.7	28.3
④ミサ奉納金/世帯数/月	885	830
⑤ミサ献金/世帯数/月	532	546

**2016年 四旬節愛の献金**  
**総額 6,996,875円 (6/28 現在)**  
 上記献金の他、直接カリタスジャパンへご送金いただいている分もあります。皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。  
 カリタスジャパン長崎支部

宗教法人カトリック長崎大司教区の収支決算書が6月21日、教区顧問会承認された。大浦天主堂拝観料に依存した教区運営から脱却できないでいるのが現状で、財政プロジェクトチームを再開させ、将来を見据えた改善策を具体的に検討するよう指摘があった。

昨年(2015年度)は信徒見込み150周年を迎え、14年度分と合わせて、収入合計が2千770万円、支出合計が4千224.1万円となり、うち2千87万円が皆様の寄付となつていく。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

**会計報告 — 15年度決算書を受けて**

なお、6面掲載の「教会保全基金規約」は、大浦天主堂拝観料を昨年値上げした分の一部を原資として、将来にわたって教会を保全していくために積み立てておく基金であり、その用途は第7条で規定されている。

また、「関連施設管理および整備事業費補助金交付要綱」は、小教区が管理する関連施設(殉教碑や記念碑など)に関する要綱である。これによると、小教

**教区顧問会**

互助基金参加を呼び掛け、多くの小教区に参加を呼び掛けることも申し合わされた。

続いて、文化財に指定されている教会堂などの「大規模保存修理計画」が提出され、承認された。今後はこの計画に基づいて、県や市町と協議しながら、順次大規模保存修理が行われることになる。

また、大浦天主堂が教皇庁典礼秘跡省から小バジリカ(Basilica Minor)として正式に認可されたことが報告された。さらに、司祭引退後の施設に関すること、日本二十六聖人殉教祭の開催日に関することについては、次回までに地区司祭集会や地区評議会での意見を聴くことになった。とりわけ、引退した司祭の施設については、議論の深まりが期待される。

**ウルトレヤ開催のご案内**

- ◆ 9月22日(木) 下五島地区 福江教会
- ◆ 10月10日(月) 上五島地区 青方教会
- ◆ 11月 3日(木) 佐世保地区 佐々教会
- ◆ 11月23日(水) 平戸地区 田平教会
- ◆ 1月 9日(月) 長崎地区 浦上教会

申し込みは所属小教区の世話役へ。問い合わせはクルシヨ事務局(西尾)まで。  
 TEL 070-2379-3022

区単独では整備できない場合、まずは当該地区全体で対応し、地区での対応も困難な場合には、教区に補助金を申請することになっているので、目を通していただけたい。

教区会計 岩本繁幸

◆ NAGASAKI 平和を願うコンサート 8月11日(木)14時開演、深堀教会。教区平和推進委員会主催。

◆ 聖母平和祈願祭 8月15日(月)13時、アルカス SASEBO。

◆ 教派を超えて祈りと食事を共にする集い「朝禱会」 ●長崎 ●第3火曜 8月16日(火)7時半、日本基督教団長崎古町教会

●大村 ●第3水曜 8月17日(水)7時、日本バプテスト連盟大村古賀島キリスト教会 ●佐世保 ●第3木曜 8月18日(木)7時半、佐世保グレートホール

◆ 教区結婚講座 9月6日、11月8日の毎週火曜日の連続10回。19時〜21時。カトリックセンター。申込先 教区家庭委員会 TEL 095-842-4450

◆ 大村殉教祭 9月11日(日)13時、シーハットおむら・さくらホール。



# 教会保全基金規約

## (名称)

第1条 この基金は、教会保全基金(以下「基金」という。)と称する。

## (目的)

第2条 カトリック長崎大司教区(以下「長崎教区」という。)にとつてすべての教会は同じように価値あるものである。しかし、文化財に指定されているが故に保全に多額の支出を伴う場合、あるいは共同体が少人数であるが故に保全の支出を計上できない場合等がある。この基金は、教会をはじめとした長崎教区所有の資産に関して、当該共同体のみでは保全できない場合に限り、その費用の一部または全部を助成するとともに、その資金の確保を図ることを目的とする。

## (基金の構成)

第3条 基金は、次の各号に掲げるものをもって構成する。  
(1) 国宝大浦天主堂拝観料の一部。その割合は別に定めるものとする。  
(2) 長崎の教会を後世につなぐ基金からの繰入金。  
(3) 国庫補助を伴う補修事業に対する指定寄附金。  
(4) 補修事業に伴う国、県および市町村からの補助金。  
(5) 財産から生じる収入。  
(6) その他の収入。

## (管理)

第4条 基金を管理するのは教区顧問会である。  
2 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

## (申請)

第5条 基金より助成を受けるためには、長崎教区顧問会が定める書式に従って申請するものとする。

## (決定)

第6条 教区顧問会は小教区から提出された申請書の内容を吟味し、助成の是非を決定する。ただし、事前に教区経済問題評議会の諮問を受けなければならない。

2 教区顧問会は申請書を受け取ってから3ヶ月以内に、その是非を文書で申請者に伝えるものとする。

## (対象)

第7条 基金より助成を受けるためには、次の各号のいずれかに該当していなければならない。  
(1) 世界遺産や文化財指定された資産が、別に定める「包括的維持管理計画」に沿った大規模な補修を行うとき。  
(2) 当該共同体が少人数であるが故に、資産の補修を単独では行えないとき。  
(3) 自然災害等不可抗力の理由による復旧工事で、助成が適当であると認められるとき。  
(4) その他、教区顧問会が適当であると認めるとき。

## (繰替運用)

第8条 教区顧問会は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間を定めて、基金に属する現金を不動産取得資金に繰り替えて運用することができる。

## (細則)

第9条 本規約の施行について必要な細則は、教区顧問会の議決を経て、代表役員がこれを定める。

## 附則

1 本規定は、2015年9月15日開催の教区顧問会の決議と同日の高見三司教の承認によって、2015年10月1日より発効する。

## 細則

1 第3条第1項第1号に定める「国宝大浦天主堂拝観料の一部」とは、2015年7月1日に値上げした分のうち、「大浦天主堂物語」の本代として長崎の教会群インフォメーションセンターに納入すべき額を差し引いた額とする。

# 関連施設管理および整備事業費補助金交付要綱

## (趣旨)

第1条 この要綱は、カトリック長崎大司教区(以下「教区」という。)が所有する関連施設の管理について、および整備事業費補助金(以下「補助金」という。)の交付に関して必要な事項を定めるものとする。

## (定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。  
(1) 関連施設 殉教地および殉教者を想起させる記念碑等、教会歴史に関わる土地および記念碑等、記念館、天然記念物、太陽光発電等の事業を伴う場所および設置物、その他それに類するものをいう。  
(2) 整備事業 関連施設の整備及び修繕で、教区長もしくは関連施設の存する当該地区の地区長が認められたものをいう。その際、将来にわたって維持管理可能かの検討を行うものとする。

## (関連施設の管理)

第3条 関連施設は次の各号に定めるところにより分類され、各々の管理主体が管理責任を負う。  
(1) 教区が管理する関連施設。ただし、個別に覚書を交わすことにより、管理の一部あるいは全部を小教区もしくは他の管理団体に委ねることができる。  
(2) 小教区(単独・複数問わず)が管理し、かつ当該地区主催もしくは共催の殉教祭等に関する関連施設。  
(3) 小教区(単独・複数問わず)が管理し、かつ当該地区主催もしくは共催の殉教祭等が行われない関連施設。  
(4) その他特定の団体が管理する関連施設。

## (関連施設の整備事業)

第4条 前条の分類により、整備事業を行う主体はその管理者とし、次の通り定める。  
(1) 前条第1号に定める関連施設の整備事業は教区が行う。  
(2) 前条第2号に定める関連施設の整備事業を行う場合であつて費用が高額となる場合、管理者はその所属する地区評議会に諮り、当該地区評議会もしくは当該地区に所属する小教区全体に寄付等の援助を申し入れる。さらに教区に補助金を求める場合には、当該地区長および管理者の連名でもって、補助金交付を申請するものとする。  
(3) 前条第3号に定める関連施設の整備事業を行う場合であつて費用が高額となる場合、管理者はその所属する地区長に諮った上で、教区に補助金交付を申請するものとする。ただし、当該地区内の協力を妨げるものではない。  
(4) 前条第4号に定める関連施設の整備事業に関しては、管理者と教区が個別に覚書を交わすものとする。

## (補助金対象経費及び補助金の額)

第5条 補助金の交付の対象経費は、教区長が整備事業の実施に必要と認める経費とし、補助金の額は対象経費の2分の1又は1000万円のいずれか低い額を限度とする。  
(1) 前項の規定により算出した補助金の額に1000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。  
(2) 前条第1号、第2号および第4号による補助金は、不動産取得資金からの支出とする。  
(3) 前条第3号による補助金は、教会保全基金からの支出とする。従つて、補助金を受けるにあつては、教会保全基金規約を遵守しなければならない。  
(4) 上記の規程に関わらず、拝観料や入場料を一般より徴収し、かつ小教区で採算独立体制をとっている関連施設に関しては、原則として補助金は出さないものとする。

## (交付申請書の添付書類等)

第6条 補助金等交付申請書に添付すべき書類は、次のとおりとする。  
(1) 事業計画書(写真付きで説明されるものが望ましい)  
(2) 収支予算書  
(3) その他教区長が必要と認める書類

## (交付の決定)

第7条 教区顧問会は提出された申請書の内容を吟味し、補助金の是非を決定する。  
2 教区顧問会は申請書を受け取ってから3ヶ月以内に、その是非を文書で管理者に伝えるものとする。

## (交付の条件)

第8条 補助金の交付に付する条件は、次に掲げるとおりとする。  
(1) 整備事業の内容又は整備事業に要する経費の配分の変更をする場合は、変更承認申請書を教区長に提出して、その承認を受けること。ただし、整備事業に要する経費の20パーセント以内の経費の配分の変更については、この限りでない。  
(2) 整備事業を中止し、又は廃止する場合は、あらかじめ教区長の承認を受けること。  
(3) 整備事業が予定の期間内に完了しない場合又は整備事業の遂行が困難になった場合は、速やかに教区長に報告して、その指示を受けること。

## (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、教区顧問会の議決を経て、教区長が別に定める。

## 附則

1 本要綱は、2016年3月14日開催の教区顧問会の決議と同日の教区長の承認によって、2016年4月1日より発効する。



### 信仰伝達のために できることは

中町で日力連長崎総会



5月16日(月)と17日(火)の2日間、日本カトリック女性団体連盟(日カ連)長崎総会が中町教会で行われました。

日カ連(顧問 浜口末男司教)とは、「いのち、家庭・召命」の3本柱を中心に、唯一司教団より承認された女性団体として活動している団体です。長崎教区評議会女性部はこの活動方針を共有し、「いのちを守る運動」基金を集める活動や、団体へ加盟をしている全国の女性の皆さんの活動内容を聞いて思いを分かち合うため、各地で行われている総会へ毎年参加を

しています。今年も長崎で行われることとなり、1日目はあいにくの雨で

したが、全国各地から75人、また長崎教区内から147人が参加され、各団体の充実した興味深い活動報告が行われました。今回地震で大きな被害に遭われた熊本県からも参加があり、被災状況や災害に遭った時の心構えなど、被災したからこそ分かる貴重な体験を話されました。また、長崎教区の皆さんで大浦天主堂へ巡礼に行き、サンタ



ボナベンツウラ  
春日井直吉神父  
(神言修道会)

5月20日逝去。88歳。1927年7月14日東京・本所生まれ。



ピオ  
中島優神父  
(コンベンツアル  
聖フランシスコ修道会)

5月17日逝去。87歳。1928年4月22日五

島市岐宿町生まれ。4月23日水ノ浦教会で受洗。45年入会、47年有期誓願、51年終生誓願。55年1月6日日本河内教会で司祭叙階。同年兵庫・仁川修道院、57年聖母の騎士学園、64年聖母の騎士幼稚園園長、68年本河内主任、73年聖母の騎士幼稚園園長、82年小長井修道院院長、88年愛知・春日井修道院院長、95年大分

由布修道院(静養)、けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道会付霊的指導司祭、2005年小長井修道院。09年養護老人ホーム聖フランシスコ園に入所。物静かによく折り、人を優しく包み込むような司祭であった。葬儀・告別式は5月19日、同会日本管区長の崎濱宏美師により本河内教会で執り行われた。



レオ  
高田和夫さん  
(マリア会・高田裕和師の父)

6月8日、肺塞栓症のため愛野記念病院で逝去。66歳。

6月1日、長崎あじさい病院で逝去。87歳。8年前から住み慣れた

京都を離れ、「ときわ荘」で生活していた。長男の高田裕和師は、「父は若い頃、教会で聴覚障がい者の方と出会った時、自ら手話を学び、その方たちの日常生活や信仰生活の一助となっていました。人のために生きるのではなく、人と生きるために何が出来るかを生きた人でした。病院で、痰の吸引をしてもらう

時、その苦しみから血相を変えて力いっぱい抵抗していても、終わると看護師さんに、「おおきに、ありがとう」と声を掛けていました。父の生き方を象徴しているように思います」と語った。葬儀・告別式は3日、小ヶ倉教会で高田師の司式のもと、マリア会員はじめ十数人の司祭の共同司式で執り行われた。

### タイの教育研修団、 聖マリア学院を訪問

は、「習字」教室にお招きしました(写真)。

5月13日(金)、タイのサンタクルズ女子修道会学校から30人の教育研修団を受け入れました。前日までに、幾つかの幼稚園・小学校の視察を終え、聖マリア学院での最後の1日研修でした。研修会の中に本校児童との交流会を持ち、みんなで楽しい時間を過ごしました。3年生の子どもたち

は、「習字」教室にお招きしました(写真)。早速、子どもたちが書いた文字の意味を聞いて、タイ文字で挑戦。「うわお！」タイの文字を見て目を丸くした子どもたちの驚きの声。その後は、グループごとに一枚の半紙に交代で「そら・にじ・心・花・愛……」などを書いていました。タイの人にも一緒に書いていた



も解け、最後には、「名前を書いて」とお願いされると、子どもたちは自慢げに自分の名前を漢字で書いていました。タイの人に名前をお願いするグループもあり、子どもたちは興味津々で「何て読むのかなあ？」と一生懸命に考えていたり、自分の名前をタイの文字で書いてもらったグループでは、とても嬉しそうに見せていました。他の学年は、折り紙やけん玉、すごろくなどで

一緒に遊んだり、自分たちで点てたお茶でもてなしたりして、日本のすばらしさを伝える交

流となりました。お別れの時は、全校児童で玄関から見送りをしました。姿が見えなくなると、手をのびのびと振り続けて見送る姿に、国際交流の意義を感じました。国際交流を通して、タイの国のことを知るきっかけになったことはもちろん、日本の良さをあらためて実感することにもつながりました。

聖マリア学院小学校  
教諭 田中希歩

### 新しさへの挑戦を

2016年教区司祭黙想会

5月24日(火)と27日(金)、大司教館で教区司祭黙想会が行われた。教区司祭全員が一堂に会する年となった今回は、聖

パウロ修道会日 本管区長の鈴木 信一師に黙想指導を受けた。鈴木師は「最も大切なこととして、わたしがあなたがたに伝えたのは、わたしも受けたものです(1コリント15・3)。すなわち、キリストが私たちの罪のために死んだこと、葬られたこと、聖書に書いてあるとおり3日目に復活したこと、使徒たちに現れたこと。これらの主の「出来事」を、最も大切なこととして教区全体が共通意識を持って、い

ば、感謝の祭儀に立つこと



またすべてのキリスト者が洗礼によって「最も大切なもの」を受けており、何を大切なものとして生きたいと思っているか、きちんと描ける人であるようにとの招きが印象的だった。キリスト者として、司祭として、私を呼んでくださった方に忠実でありたいと強く願う黙想会となった。

田平小教区  
主任 中田輝次

### 大槌ベースボランテニア募集

- 9月15日(木)〜21日(木)
- 10月13日(木)〜19日(木)
- 11月10日(木)〜16日(木)

- (8/17締切)
- (9/14締切)
- (10/12締切)

申し込みは所属小教区へ。問い合わせは教区本部事務局(松尾)まで。  
TEL 095-842-4450  
FAX 095-842-4460

白蟻調査無料・駆除工事5ヶ年保証付  
白蟻防除施工士  
**大田白蟻研究所**  
代表者 マリア 大島睦子  
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号  
倉長崎 095-822-8436  
FAX 095-822-8488

家庭祭壇・聖具 Kaori 祭壇・長椅子・朗読台  
**佳織木工所**  
代表 ラウラ・ピクーニア 濱口佳織 〒857-0032 佐世保市宮田町7-7  
TEL (0956) 23-1867 HP kaori-mokkousho.com

タンスの中身は入れたまま  
責任ある安全運送!!  
(見積り無料・荷造り発送も致します)  
24時間営業・年中無休  
受付時間 7:00~22:00  
**水浦運送**  
シモン 水浦 幹雄  
長崎市上野町12-3  
TEL(095)4847-7151  
844-1420

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備  
**(有)小田警備保障**  
警備員募集!  
電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523  
長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 パウロ 小田 睦

なが さき せき ちよう  
**長崎石彫**  
ヨゼフ 岩永 博明  
☎(095)862-2469  
長崎市梁川町6-17 岩永ビル

**聖マリア学院同窓会会員 全員集合!**  
平成28年9月17日(土) 同窓会総会・懇親会開催  
総会:15時30分~感謝のミサ・総会(会場)城山教会聖堂  
懇親会:18時30分~20時30分(会場)稲佐山観光ホテル  
(送迎バス)17時30分発①城山教会前②長崎駅大村ポト場行乗り場  
(お問い合わせ先) 〒852-8023 長崎市若草町6番5号  
聖マリア学院同窓会事務局 tel(代)095-844-1549



### 召命を人任せにせず

覚悟を支える召命祈願ミサ



7月8日(金)19時から中町教会で、召命祈願ミサが高見三司大司教司式で執り行われた。

学期に一度行われる召命祈願ミサは、昨年度から長崎カトリック神学院が呼び掛けており、今回で19回を数える。神学生や志願生とその保護者、関係者、信徒が集まり、司祭・修道者を志す者たちの召命の成長・完成のため、新しい召命の萌芽のために祈る大切な機会である。多くは平日の夜に

ミサがささげられるため参加者が増加し、列者が現状にないが現状

であるが、信徒の方々に召命を考える機会を提供し、また実際に召命の道を歩む者たちの姿を閲覧いただけるように、現在は地区長在住の各教会でミサを計画している。

「昔に比べると神学生、志願生の数が少なくなつた」と時には人任せにも言われる昨今、少ないからといって懸命に召命を生きて子どもたちがいることまでぞんざいに扱ってはいけません。共に祈る子どもたちと信徒の声、召命に向き合う覚悟とそれを支える信仰の喜びを互いに想起させ、心からのささげものとなつて響き渡るミサはこれからもささげられていく。まだ参列したことのない方々にも、真の喜びを醸し出すミサに参列していただけることを願う。

神学院 熊谷裕司

### いのちをテーマに開催

バストララケア研究会 in 長崎

と「外旭川病院ホスピス長の嘉藤茂氏が「ス

6月25日(土)26日(日)、臨床バストララケア研究会in長崎(ウアルデマール・キツベス理事長)主催「第19回日本臨床バストララケア研究会in長崎」がカトリックセンターで開催、全国から会員ら約120人が集まった。テーマは「いのち」受けとり、寄り添い、受け継いでいく。同研究会は、病人を全人的にケアするために不可欠なスピリチュアル・ケアワーカーを養成するための組織で、1998年の発足以来、毎年研究会を実施している。当初熊本での開催となつていた今回、4月に発生した地震の影響により急きょ長崎に場所を変更し、開催が実現した。初日は、慈恵病院理事長で院長の蓮田太二氏が「このよりのゆりかご」を設置して思うこ



神が喜ぶ愛とは 公開聖書講座

**2016年度 公開典礼講座**

日時 9月22日(祝・木) 10:30~15:30 (9:30受付)

場所 カトリックセンター

講師 宮越俊光氏 (日本カトリック典礼委員会秘書)

参加費 500円(昼食は各自で)

締切 9月4日(日)

申込先 教区生涯養成委員会 FAX 095-841-7732

問合せ 稲佐教会・下山神父 TEL 095-861-0747

主催 教区典礼委員会

よりの豊かな典礼を祝うために  
—皆さんの質問に答えて—

浦上旧鐘樓が国史跡に  
国の文化審議会は6月17日、原爆の被害を伝える遺跡として「長崎原爆遺跡」を国史跡に指定するよう文部科学相に答申した。同遺跡は、爆心地、旧城山国民学校校舎、浦上天主堂旧鐘樓、旧長崎医科大学門柱、山王神社の鳥居といった5件の被爆遺構からなる。登録される、長崎県の国指定史跡は32件。大浦天主

感謝  
—香典返し—  
長崎カトリック神学院 堤剛志様 (木鉢) 故マチアス堤 恵吉様 山口繁光様 (出津) 故セシリア山口トク様 櫻園澄子様 (城山) 故ドミニコ永田富夫様 右の方々からご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

神が喜ぶ愛とは 公開聖書講座

高見大司教が会長就任  
カトリック会館で定例司教総会

告の「愛のよろこび」(Amoris Laetitia)について学ぶ、午後からは場所を東京・麹町教会に移し、一般の参加者も交えて、特別聖年公開講演会「障害者差別解消法」を学ぶ」を開催。16日は「司教勉強会」として、「司教儀典書」(堅信式、叙階式、献堂式、聖香油のミサ)を学ぶ」を行った。

### みことばにふれて

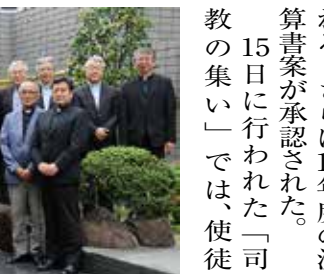
濱田洋子シスター (純心聖母会)



聖母マリアのことも、イエス・キリストのことも初めて耳にする学生たちに聖母マリアを伝える時に、折に触れカナの婚礼の場面を選びます。その理由は、時や文化を越えて、身近に出会う結婚式の出来事であり、さらにイエスと母マリアが直接に言葉を交わす場面だからです。

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

高見大司教が会長就任  
カトリック会館で定例司教総会



告の「愛のよろこび」(Amoris Laetitia)について学ぶ、午後からは場所を東京・麹町教会に移し、一般の参加者も交えて、特別聖年公開講演会「障害者差別解消法」を学ぶ」を開催。16日は「司教勉強会」として、「司教儀典書」(堅信式、叙階式、献堂式、聖香油のミサ)を学ぶ」を行った。

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

「わたしの時はまだ来ていません」(2・4)と答えますが、温かい「母」の言葉に従い、最初の奇跡を行われまし

ペトロ岐部と187殉教者列福式記念墓地・高見三司大司教祝福

# カトリック長崎中央墓園

所在地: 長崎市中町 3540 番地 6~7 既存道名: 中尾木場(木場峠付近)

開発総面積: 2648.66 m<sup>2</sup> 付帯設備: 照明、水道、管理棟

自然の中で故人と静かに語りあえる天の門

(区画/規格: 1.5m x 2.0m 3.0m) 基礎1区画 (単・複) 160万円 (計: 単体使用料30万円) 管理費 (30坪) 6万円	月額2万円より 分割可能 ◆付帯設備も利用可	(納骨堂式) 納骨堂式1基 (3区画) 70万円 (計: 単体使用料20万円) 管理費 (30坪) 3万円	車庫 26台以上完備	トイレ・給水設備 完備	十字架橋 架橋完備	ゴミステーション 完備
---	------------------------------	--	---------------	----------------	--------------	----------------

墓地管理委員会  
〒850-0055 長崎市中町1-13 カトリック中町教会内 代表 主任司祭 橋本 勲  
TEL 095-823-2484 FAX 095-823-2486

問い合わせ  
〒850-0056 長崎市大町 550-111 TEL 095-841-1911 FAX 095-841-1912

マイホームの美容と健康に!

## (有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会  
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5  
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は

## メモリアル・典礼会館・中央斎場

長崎・諫早・大村・佐世保

MEMORIAL 事務局長 ペトロ 田川慶司

0120-44-6666